

CDP水セキュリティ2021 上級者ウェビナー W2事業への影響 & W3手続き & W4リスクと機会

CDP事務局
2021年5月



本ウェビナー・資料利用の際の注意点



本ウェビナー・資料は、CDPジャパンにて、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくはwww.cdp.netのオフィシャルガイダンスをご参照ください。



CDP水セキュリティ モジュール

	2021 モジュール	主な内容
一般質問	W0 イン트로ダクション	会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ
	W1 現状	水の依存度、水のアカウンティング(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働
	W2 事業影響	報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則
	W3 手順	水リスクの評価方法の手順・考慮される要素
	W4 リスクと機会	水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会
	W5 施設レベルの水会計	施設レベルの水に関するデータ
	W6 ガバナンス	水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合
	W7 事業戦略	事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング
	W8 目標	水関連目標と達成に向けた進捗
	W9 検証	水情報に関する外部検証
	W10 承認	回答承認者の情報



2021年 カテゴリー別ウエイト - 一般

マネジメント（変更なし）と
リーダーシップ（下記参照）

重み付けの変更は、リーダーシ
ップレベルにのみ適用されます



カテゴリー	2020年の重み付け	2021年の重み付け	変化？
コンテキスト	0%	2%	*増加
水の会計	12%	12%	変化なし
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	変化なし
ビジネスへの影響	3%	3%	変化なし
水リスク評価	15%	13%	*減少
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	変化なし
水関連機会	4%	4%	変化なし
水政策	9%	9%	変化なし
ガバナンス	15%	15%	変化なし
事業戦略	7%	7%	変化なし
課題への統合的アプローチ	3%	3%	変化なし
定性的・定量的目標	13%	13%	変化なし



2021年 カテゴリー別ウェイト - セクター

マネジメントとリーダーシップ

重み付けの変更は、リーダーシップレベルにのみ適用されます

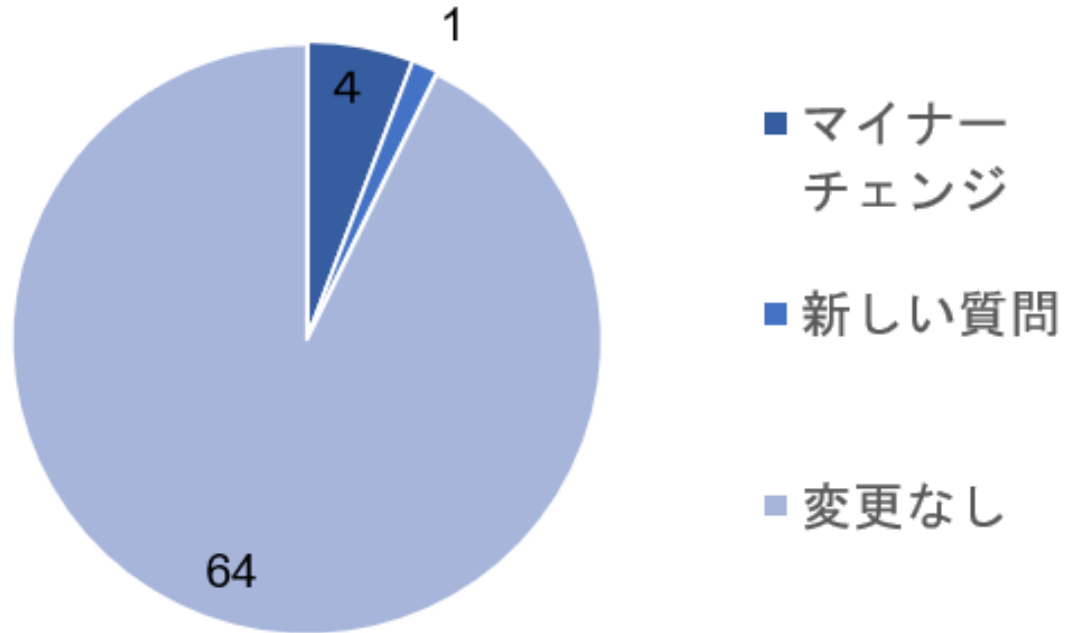


	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021	2020	2021
水のカテゴリー/セクター	CH		EU		FBT		M&M		O&G	
コンテキスト	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%	0%	2%
水の会計	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
バリューチェーン・エンゲージメント	9%	9%	5%	5%	12%	12%	6%	6%	6%	6%
ビジネスへの影響	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%	3%
水リスク評価	13%	11%	15%	13%	13%	11%	15%	13%	15%	13%
水関連のリスクの暴露と対応	10%	10%	12%	12%	9%	9%	10%	10%	10%	10%
水に関する機会	4%	4%	5%	5%	4%	4%	5%	5%	5%	5%
水政策	9%	9%	9%	9%	8%	8%	9%	9%	9%	9%
ガバナンス	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%	15%
事業戦略	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
包囲された課題への統合的アプローチ	7%	7%	6%	6%	7%	7%	7%	7%	7%	7%
定性的・定量的目標	13%	13%	13%	13%	12%	12%	13%	13%	13%	13%



水セキュリティ - 2021年の変化の範囲

2021年水セキュリティ質問書



2021年の全問題数：69問

(セクター別の質問とサプライチェーンモジュールを除く)

質問書の98%が変化なし、または
軽微な変化あり

一つの新しい質問

新しいセクター特有の質問はありません

削除された質問はありません



要点

- 1) 排水処理に関する一つの新規質問（W1.2j）
- 2) サプライヤーエンゲージメント（W1.4b）、水リスク（W2.1a、W4.2）、目標（W8.1a）に新規ドロップダウンを含むなど、4つのマイナーチェンジ。
- 3) 鉱滓ダム（金属・鉱業セクター-W-MM3.2a）に関する1件の質問を修正
- 4) 2つの設問でのガイダンス追加（W1.2d、W7.3）
- 5) 複数の設問にある「説明してください（please explain）」ボックスの文字数制限の増加、水ストレス地域からの取水（W1.2d）と水集約度の計算（W-FB1.3、W-FB1.3a）の両方のガイダンスの多少の明確化



事業へのインパクト・コンプライアンスの影響

W2.1

貴社はこれまでに、水関連の悪いインパクトを被ったことはありますか。

はい

いいえ

W2.1a

貴社が被った水に関連する有害なインパクト、それへの貴社の対応、総合的な財務上のインパクトについて具体的にお答えください。

W2.2

貴社は報告年に、水関連の規制違反を理由として罰金、法的命令、その他のペナルティを科されましたか。

「はい、罰金」または「はい、罰金、執行命令、その他の罰則はあるが、重大なものとみなされるものではありません。」

W2.2a

水関連の罰金の合計件数および総額をお答えください。

W2.2で「はい、罰金」

「はい、罰金」または「はい、罰金、執行命令、その他の罰則」

W2.2b

報告年に水関連の規制違反で科された重大な罰金、法的命令、その他のペナルティのすべて、およびその解決の計画について、具体的に説明してください。

「いいえ」または「わかりません」

End of module



2020 モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 事業影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水データ

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 承認

過去に経験した水関連問題(規制等を含む)による影響とそれに対する対応を回答します。事業への影響を認識することで今後の水リスクへの対応力が高まります。

W2.1 有害な水関連の影響がありましたか？

⇒Yesの場合、詳細を回答

国、流域、影響要因の種別、主要な影響要因、主要な影響、影響の詳細、
主要な対応、財務影響、対応の詳細

W2.2 報告年度に、水関連規制違反に対する罰金、執行命令、その他罰則の対象となりましたか？

⇒Yesの場合、詳細を回答(W2.2a、W2.2b)

罰金額、関連する施設の割合、罰金件数、国、流域など

セクター別質問 W-CH3.1, W-CH3.1a, W-EU3.1, W-EU3.1a, W-FB3.1, W-FB3.1a, W-OG3.1, W-OG3.1a, W-MM3.2, W-MM3.2a, W-MM3.2b, W-MM3.2c

W3.3 貴社では水関連のリスクの評価を実施していますか。

「はい、水関連リスクの評価が実施されています」

W3.3a 水関連のリスクの特定と評価の手続きとして最も当てはまるものを選択してください。

W3.3b 貴社の水関連のリスク評価では、全体的状況に関わる以下のどの問題が考慮されていますか。

W3.3c 貴社の水関連のリスク評価では、以下のどのステークホルダーが考慮されていますか。

W3.3d 貴社の直接操作およびバリューチェーンの他の段階における水関連のリスクの特定、評価、それへの対応に用いている、貴社のプロセスを具体的に説明してください。

「いいえ、水関連リスクは評価されていません」

W3.3e 貴社が水関連のリスク評価を実施しないのはなぜですか。

End of module



2020 モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 事業影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水データ

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 承認

御社の企業レベル、地域レベルでの水リスク管理手法を聞いています。

※W3.1、W3.2はセクター別質問のため割愛

W3.3 水関連リスク評価を実施していますか？

⇒Yesの場合、詳細を回答

- ①水リスク特定と評価の手続きの詳細(W3.3a)
- ②水関連のリスク評価で考慮されるものを回答(W3.3b)
 - ・ 流域/集水域における水の利用可能性
 - ・ 流域/集水域における水質
 - ・ 河川流域/集水地における水資源に関連したステークホルダー間対立
 - ・ 主要商品/原材料に対して水がもつ意味
 - ・ 水関連規制枠組み
 - ・ 生態系および動植物生息環境の状態
 - ・ 全従業員が、適正に機能し安全に管理された衛生施設を利用できること
 - ・ その他
- ③水関連リスク評価で考慮されるステークホルダーについて回答(W3.3c)
- ④直接操業およびバリューチェーンにおける水関連リスクの特定、評価、それへの対応に用いているプロセスの説明(W3.3d)

⇒Noの場合、リスク評価を実施しない理由を説明(W3.3e)



W2.1a & W4.2 -影響（インパクト）とリスクへの主な対応



(W2.1a) 貴社が被った水に関連する悪影響、それへの貴社の対応、総合的な財務上の影響について具体的にお答えください。

マイナーチェンジ

根拠

企業がリスクへの第一の対応策として環境に配慮した再生農業を採用していることを示すことができます。これはRace to Zeroキャンペーンに貢献する行動です

説明

W2.1a、W4.2 の 7 列目、15 列目に「一次対応」の選択肢を追加しました。「再生農業（リジェネラティブ農業）ポリシーの採用」

国/地域	河川流域	影響要因の種類	主な影響要因	主な影響
選択肢: ● 国/地域ドロップダウンリスト	選択肢: ● 河川流域ドロップダウンリスト ● 不明 ● その他、具体的にお答えください	選択肢: ● 物理的要因 ● 規制 ● 評判および市場 ● 技術	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢

影響の詳細	主な対応	財務上の影響総額	対応の詳細
文章入力欄[最大1,500文字]	選択肢: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウン選択肢	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、 0～999,999,999,999,999の数字を入力]	文章入力欄[最大1,500文字]

主な対応(7番目の列)

<ul style="list-style-type: none">● 水の効率化、水の再利用、リサイクル、および保全活動を採用● 再生農業方針を採用● 事業継続計画を修正● 現地規制要件への準拠● 干ばつ緊急対策を作成● 洪水緊急対策を作成● 新しい製品および/または市場を開発● 顧客との協働● 地域社会との協働● NGO/特別利益団体との協働● 規制当局/政策立案者との協働● サプライヤーとの協働● 操業地特有の定量的目標を設定● 適正評価の強化● 社内水プライシングを実施● 自然をベースにした解決策を実施● 活動に影響を及ぼす公共政策とウォーターセキュリティシップ誓約の整合性の改善● インフラ維持管理の改善● モニタリングを改善● 汚染対策および抑制対策を向上● 資本支出を増加● 施設の地理的多様性を増加● 保険補償範囲を拡大	<p>新しい選択肢 環境再生型農業（リジェネラティブ農業）ポリシーの採用</p>	<ul style="list-style-type: none">● 化学肥料や殺虫剤の使用量を削減する代替作物管理戦略を採用(食品・飲料・タバコセクターのみ)● 代替家畜管理活動を採用(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での化学肥料や殺虫剤の使用量を削減する代替作物管理戦略の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での代替家畜管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での動物用製品の使用を削減するために、代替家畜管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間でのより良い動物廃棄物管理活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での効率的な化学肥料および殺虫剤管理の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での土壌保全活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での持続可能な灌漑活動の採用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● サプライヤー間での耐乾性作物品種の使用を奨励(食品・飲料・タバコセクターのみ)● バリューチェーン全体を通じて食品廃棄物を削減(食品・飲料・タバコセクターのみ)● 耐乾性作物品種を使用(食品・飲料・タバコセクターのみ)● その他、具体的にお答えください
---	--	---

この質問は、企業がW2.1で「はい」を選択した場合にのみ表示されます。



W3 Procedures／手順

2020 モジュール
W0 イントロダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 承認

W3.3b 水関連のリスク評価で考慮されるものを回答		
水関連課題	重要度、考慮にしているか	説明してください
<ul style="list-style-type: none"> ・流域/集水域における水の利用可能性 ・流域/集水域における水質 ・河川流域/集水地における水資源に関連したステークホルダー間対立 ・主要商品/原材料に対して水がもつ意味 ・水関連規制枠組み ・生態系および動植物生息環境の状態 ・全従業員が、適正に機能し安全に管理された衛生施設を利用できること ・その他 	(選択肢) a)重要、常に考慮している b)重要、時々考慮している c)重要だが考慮していない d)重要でないが考慮している e)重要でない、理由を記載 f)検討していない	a)、b)、d)を選択した場合 ①この課題が御社のビジネスにおいて重要な理由 ②実施している評価の説明 ③評価に使用するツール e)を選択した場合 ①この課題が御社のビジネスにおいて現在重要でない理由 ②この課題が将来関連するか否か予測 c)を選択した場合 ①考慮していない理由 ②今後いつ考慮し始めるかを含めた将来の計画 f)を選択した場合 回答不要



W3 Procedures／手順

2020 モジュール
W0 イン트로ダクション
W1 現状
W2 事業影響
W3 手順
W4 リスクと機会
W5 施設レベルの水データ
W6 ガバナンス
W7 事業戦略
W8 目標
W9 検証
W10 承認

W3.3c 水関連リスク評価で考慮されるステークホルダーについて回答

ステークホルダー	重要度、考慮にいれているか	説明してください
<ul style="list-style-type: none"> ・顧客 ・従業員 ・投資家 ・地域コミュニティ ・NGO ・河川流域/集水地におけるその他水利用者 ・規制機関 ・河川流域管理当局 ・地域レベルの法的の特殊利益集団 ・サプライヤー ・地域レベルの水道事業者 ・その他 	(選択肢) a)重要、常に考慮している b)重要、時々考慮している c)重要だが考慮していない d)重要でないが考慮している e)重要でない、理由を記載 f)検討していない	a)、b)、d)を選択した場合 ①このステークホルダーがリスク評価に含められる理由 ②このステークホルダーとのエンゲージメントの方法 e)を選択した場合 ①このステークホルダーが現在重要でない企業特化の理由 ②将来関連するか否か予測 c)を選択した場合 ①このステークホルダーをリスク評価に含めていない理由 ②今後いつから考慮に入れるかを含めた将来の計画 f)を選択した場合 回答不要



リスクの識別と評価の手順

W3.3b

貴社水関連のリスク評価では、次のどのような文脈上の問題が考慮されていますか

- マネジメントレベルの基準A)とリーダーシップレベルの基準Aについて、明確性を高めるために若干の表現変更を行いました。

マネジメントレベル

2020	2021
i) 当該問題が <u>会社の事業に関連する理由</u> の説明、および	i) 当該課題が <u>評価に含まれる理由</u> の説明、および
ii) どの <u>ツール</u> が評価に使用されたか	ii) 評価に使用された <u>ツール/方法</u>

リーダーシップレベル

i) 評価についての説明	i) <u>水関連のリスクについて問題がどのように評価されたかの説明</u>
--------------	--

汚染物質の管理手順

W-CH/EU/FB/OG3.1

貴社は、化学部門の活動に関連して、水の生態系や人間の健康に有害な影響を与える可能性のある潜在的な水質汚染物質をどのように特定し、分類していますか？

マネジメント採点基準

以下の内容を記入することに対して、マネジメントポイントが付与されます：

- i) 水域および生態系に悪影響を及ぼす恐れがある潜在的水質汚染物質の特定・分類を目的として、貴社で実施している方針やプロセスの詳細 - 1ポイント
- ii) 企業が従う規定の基準の詳細 - 1ポイント
- iii) 貴社のバリューチェーン全体にわたって方針と手続きが異なるか否か、異なるとすればどのように異なるかについての情報

➤ マネジメントレベルでの基準ii)の明確化

2020年の基準

ii) 会社が確立された基準に従っているかどうかについての詳細

2021年基準

ii) 会社が採用している確立された基準の詳細

W-MM3.2a - 鉱滓ダムの評価



(W-MM3.2a) 貴社の管理下にある鉱滓ダムを人間の健康や生態系に対して起こった不祥事例に準じて評価し、分類していますか。

変更点

説明

鉱滓ダム決壊の結果の評価	評価/分類ガイドライン	鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価していますいいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定ですいいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していません、また今後2年以内に行う予定もありません	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">オーストラリア大規模ダムに関する全国委員会 (ANCOLD)カナダダム協会(CDA)条例70.389/17 - ブラジル鉱業省ガーナ鉱物委員会(LI 2182)南アフリカ SANS 10286自社固有 (Company-specific) のガイドラインその他、具体的にお答えください	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されましたどの鉱滓ダムも「危険」または「非常に危険」(または同等の分類)に分類されていません不明	文章入力欄[最大1,500文字]

列の表示。
第1列で「いいえ」を選択した企業は、第3列が表示されなくなります。

この質問は、W-MM3.2に活動中または活動中の鉱滓ダムがあると企業が報告している場合にのみ表示されます。



金属・鉱業会社の管理手順

W-MM3.2a

貴社管理下にある鉱滓ダムは、その決壊が人間の健康や生態系に及ぼす影響に応じて評価・分類されていますか。

2021年のボックス表示の変更に伴い、評価基準を修正

鉱滓ダム決壊の結果の評価	評価/分類ガイドライン	鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されました	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価していますいいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定ですいいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していません、また今後2年以内に行う予定もありません	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">オーストラリア大規模ダムに関する全国委員会 (ANCOLD)カナダダム協会(CDA)条例70.389/17 - ブラジル鉱業省ガーナ鉱物委員会(LI 2182)南アフリカ SANS 10286自社固有 (Company-specific) のガイドラインその他、具体的にお答えください	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、鉱滓ダムは「危険」または「非常に危険」に分類されましたどの鉱滓ダムも「危険」または「非常に危険」(または同等の分類)に分類されていません不明	文章入力欄[最大1,500文字]

No. "を選択した場合、"Please explain "欄のみ表示されます。

▼ 2021年にむけボックス表示を改訂。
ボックス3「鉱滓ダムが危険または高危険に分類されている」は、
ボックス1「鉱滓ダムの決壊の結果の評価」で「いいえ」の選択肢が選択されている場合は表示されません

金属・鉱業会社の管理手順

W-MM3.2a

認識採点基準

認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが満点付与されている必要があります。

次の場合に認識ポイントが付与されます：

A) [鉱滓ダム決壊の結果の評価]欄で[はい、鉱滓ダム決壊の影響を評価しています]が選択されている場合：

i) [鉱滓ダム「危険」または「非常に危険」に分類されました]欄で[不明]以外のいずれかの選択肢を選択している - 2ポイント

B) [鉱滓ダム決壊の結果の評価]欄で[いいえ、現在のところ鉱滓ダム決壊の影響を評価していませんが、今後2年以内に行う予定です]が選択されている場合 - 0.5ポイント

認識レベルの基準が変わる

▼ 追加採点ルートB)

▼ 将来的に鉱滓ダム決壊による影響を評価する意図を示した場合、部分的に加算

W4 リスクと機会 リスクエクスポージャー・水関連のリスクと対応

W4.1

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある特有の水関連のリスクを特定したことがありますか。

W4.1a

貴社では、事業に及ぶ財務または戦略面での重大なインパクトを、どのように定義していますか。

W4.1の選択肢で「はい」を選択した場合「

W4.1で「いいえ」

W4.1b

貴社の施設のうち、事業に財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある水関連リスクをもつ施設は、合計でいくつありますか。
またそれは貴社の施設全体のどの程度の割合を占めますか。

W4.1c

河川流域別に、貴社の事業に重大な財務上または戦略上のインパクトを及ぼす可能性のある水関連リスクにさらされている施設の数と割合はいくらですか、また、これらの施設に関連する、事業への潜在的なインパクトとはどのようなものでしょうか。

W4.1の「はい、直接操業とその他のバリューチェーンの両方ではい」または「はい、直接操業の中でのみ」。

W4.2

貴社の直接操業において、事業に対し財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「はい、直接操業とそれ以外のバリューチェーンの両方において」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれかである

W4.2a

貴社の（直接操業以外の）バリューチェーンにおいて、事業に対し財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性があるとして特定されたリスクと、それへの貴社の対応について、具体的に説明してください。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業を超えたバリューチェーンにおいてのみ」のいずれかである

W4.2b

貴社では、直接操業において、財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある水リスクにさらされていないと考える理由は何ですか。

W4.1の「いいえ」または「はい、直接操業の中でのみ」のいずれかである

W4.2c

貴社では、バリューチェーン(直接操業を超える)において、財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある水リスクに曝されていないと考える理由は何ですか。

W4 リスクと機会 水関連の機会

W4.3

貴社ではこれまで、事業に財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか。

「はい、機会を特定し、いくつかは実現しています」を選択

「機会はあるが、実現できていない」を選択した場合

「いいえ」を選択

W4.3a

貴社の事業に財務または戦略面で重大なインパクトを及ぼす可能性のある機会の実現方法について、具体的に説明してください。

W4.3b

貴社には水関連の機会がないと考えるのはなぜですか。

End of module



クロステーマ・アライメント 水関連のリスクと対応

2021年には、これらの欄のいずれかで「不明」を選択しても、この得点の対象にはなりません。



W4.2/W4.2a

(W4.2) 貴社の直接事業（バリューチェーン）において、財務上または戦略上、貴社の事業に実質的な影響を与える可能性のある特定されたリスクの詳細と、それらのリスクに対する貴社の対応策を提供してください。

期間
選択肢: <ul style="list-style-type: none">● 現在から1年以内● 1～3年● 4～6年● 6年超● 不明

潜在的影響の程度	可能性
選択肢: <ul style="list-style-type: none">● 高い● やや高い● 中程度● 中程度～低い● 低い● 不明	選択肢: <ul style="list-style-type: none">● ほぼ確実● 可能性が非常に高い● 可能性が高い● 5割を超える確率で● 可能性がおおよそ5割● 可能性が低い● 可能性が非常に低い● 可能性が並外れて低い● 不明

「認識」の基準を「気候変動とフォレスト」に合わせてマイナーチェンジ

認識採点基準

記入した行の数に応じて、配点を各行に均等に配分し、認識ポイントが次のように付与されます:

- [国/地域]欄が記入されていて、且つ、[河川流域]で、[不明]を除く選択肢が記入されている - 1ポイント
- [リスクの種類]と[主なリスク要因]欄が記入されている - 1ポイント
- [主な潜在的影響]と[自社固有の内容]欄が記入されている - 1ポイント
- [期間]、[潜在的影響の程度]、および[可能性]欄で、[不明]を除くいずれかの選択肢が記入されている - 1ポイント
- [主な対応]と[対応の詳細]の欄が記入されている - 2ポイント

W4 Risks and opportunities／リスクと機会



2020 モジュール

W0 イントロダクション

W1 現状

W2 事業影響

W3 手順

W4 リスクと機会

W5 施設レベルの水データ

W6 ガバナンス

W7 事業戦略

W8 目標

W9 検証

W10 承認

直接操業・バリューチェーンにおける水問題を明確に認識していること、及びリスクへの対応方法や機会の活用について対外的にアピールできます。

《リスク》

W4.1 事業に財務または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連リスクを特定したことがありますか？

W4.1a 財務または戦略面での実質的影響をどのように定義しますか？

⇒W4.1がYesの場合、詳細を回答

①水関連リスクをもつ施設数とその割合

②水関連リスクをもつ施設数とその割合(河川流域毎)と事業への潜在的影響の詳細

⇒W4.1がNoの場合、その理由を回答(W4.2b、W4.2c)

W4.2 特定されたリスクと、それへの対応についての詳細の説明

《機会》

W4.3 事業に財政または戦略面で実質的影響を及ぼす可能性のある水関連機会を特定したことがありますか？

⇒Yesの場合、詳細を回答。Noの場合特定したことがない理由を回答



変更点 水セキュリティ質問書2021



- ▼ すべての変更点の詳細なリストについては下記をご参照ください。

“*CDP Question Changes and Map: 2020 to 2021*”
published on [the guidance page of CDP website.](#)

- ▼ 主な変更点の概要 - モジュールごと
- ▼ セクター別の質問の変更



CDPが提供している主な資料(リンク集)

- ▼ よくあるご質問(FAQ)
- ▼ 回答ダッシュボード使用方法(アカウントの作成など)
- ▼ オンライン回答システム使用方法
- ▼ スコアリングイントロダクション
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・フォレスト質問書
- ▼ 各質問書に関するガイダンス資料・スコアリング基準
- ▼ 各質問書に関するウェビナー(動画・資料)
- ▼ 各質問書の前年からの変更点
- ▼ 公開されている他社回答へのアクセス
- ▼ 日本語版気候変動・水セキュリティ・フォレスト報告書
- ▼ CDPジャパンが開催するセミナー情報(過去の録画・資料含む)





CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



問い合わせ先代表: japan@cdp.net

SBTについて

RE100について

CDPレポーターサービスについて

CDPサプライチェーンプログラムについて

メディアの方向け

回答事務費用の原本発行依頼

sbt.japan@cdp.net

re100.japan@cdp.net

reporterservices.japan@cdp.net

supplychain.japan@cdp.net

press.japan@cdp.net

accounts.japan@cdp.net

